

英文學論叢

第 5 0 号

森 晴秀教授 退任記念号

目 次

論文

Soliloquies in Shakespearean

Films: the Case of *Hamlet*

.....Junko Oyamada (1)

エミリオ・デイキンソンの初期の創作における実験

.....下 村 伸 子 (13)

English Stress Placement by Japanese Students:

Effects of Syllable Structure and

Noun-Verb Stress Differences

.....Keiichi Ishikawa (38)

京都女子大学英文学会

2 0 0 6

京都女子大学英文学会会則

平成13年11月改正

第1章 総則

- 一、本会は京都女子大学英文学会と称する。
- 二、本会は京都女子大学英文教室（京都市東山区今熊野北日吉町35番地）に置く。
- 三、本会は会員相互の英語圏の言語・文化・文学に関する研究、およびこれらとの比較研究とその交流を促進し、学界に寄与することを目的とする。

第2章 事業

- 一、本会はその目的達成のため以下の事業を行う。
 1. 学術誌『英文学論叢』、および *Essays & Studies* 等の刊行。
 2. 講演会、研究発表会等の開催。
 3. 年次総会の開催。

第3章 会員

- 一、本会は以下の会員をもって構成する。
 1. 大学院英文学専攻、文学部英文学科、短期大学部文学科英語・英文専攻の学生。
 2. 上記1の各専攻、学科等の修了生・卒業生（以下卒業生という）。
 3. 英文教室専任教員（以下教員という）。
 4. 英文教室旧専任教員、その他運営委員1名の推薦を受け、本会が認めた者。
- 二、会員は本学会の年次総会、講演会、研究発表会等に参加し、本学会の出版物に寄稿し、出版物（会員名簿を含む）の配布を受けることができる。

第4章 役員

一、本会に以下の役員を置く。

1. 会長 英文教室専任教員の互選により選出されたもの一名。
2. 運営委員 教員若干名、卒業生若干名、在学生若干名。
3. 編集・審査委員 教員若干名。
学外審査委員若干名。
4. 会計 運営委員のうち1名がこれを兼務する。
5. 会計監査 卒業生1名、教員1名。

二、役員の仕事

1. 会長は本会を統轄する。
2. 運営委員は会長を補佐し、本会の運営に当たる。
3. 運営委員は次の諸業務に当たる。
 - イ. 年次総会、講演会、研究発表会等の開催とその広報・連絡。
 - ロ. 会計。(会費の徴収を含む。)
 - ハ. 学会員名簿の作成。
 - ニ. その他。
4. 編集・審査委員は次の諸業務に当たる。
 - イ. 『英文学論叢』の原稿審査・編集刊行。
 - ロ. *Essays & Studies*の原稿審査・編集刊行。

三、役員の仕事は一年とする。但し、重任は妨げない。

第5章 経費

- 一、本会の経費は会員から徴収する会費をもって充てる。但し、『英文学論叢』出版の経費については別途の学内資金による。
- 二、会費 年会費とし、年度はじめに徴収する。但しロ.の会員については入

学時に在学年限分を一括徴収する。

イ. 大学院在学生	2,000円
ロ. 上記以外の学生	1,000円
ハ. 卒業生	2,000円
ニ. 教員	5,000円
ホ. その他の会員	5,000円

『英文学論叢』執筆（投稿）規定

2002年11月3日改正

1. 投稿者は本会の会員であること。但し、特別依頼原稿に限り例外とする。
2. 内容は英語圏の言語・文化・文学に関する研究、および比較文化・比較文学に関する未発表の日本語または英語の論文および書評とする。書評は編集委員会の依頼による。（ただし口頭で発表したものはその旨を明記すれば可。）
3. 日本語原稿要領
 - 1) 横書きで12,000字（30字×40行×A4判用紙10枚）程度とする。機械印字したものを3部（コピー可）と、データファイル（テキストファイルに変換したものが望ましい）を保存したフロッピーディスク1枚を提出する。
 - 2) 外国語の固有名詞は原則としてカタカナ表記とし、初出時に原綴を括弧に入れて添える。
 - 3) 引用文は原則として原語とし、訳は添えない。また翻訳を使用する場合は翻訳者、出典を明示する。
 - 4) 注は原稿の末尾に付して提出し、脚注として印刷する。注番号は裸数字で1, 2, 3, と表記する。
 - 5) 引用文献一覧を必ず付す。引用、後注、引用文献一覧、その他については、J. ジバルデ/W.S. アクタート編、原田敬一訳編『MLA新英語論文の手引』第5版、北星堂、2002年刊に準拠する。
4. 英語原稿要領（"Notes for Contributors"を参照のこと）
 - 1) 7000語（A4用紙に約14語×25行×20枚）以内とする。機械印字したものを3部（コピー可）とテキストファイルを保存したフロッピーディスク1枚を提出する。

- 2) 注は原稿の末尾に付して提出し、脚注として印刷する。注番号は裸数字で1, 2, 3, と表記する。
- 3) 引用文献一覧 (Works Cited) を付す。論文の体裁、引用、後注、引用文献一覧、その他については、Joseph Gibaldi, *MLA Handbook for Writers of Research Papers*, 5th ed. (New York: The Modern Language Association of America, 1999) に従うものとする。
5. 執筆者による校正は再校までとし、誤植の訂正程度にとどめること。
6. 執筆者には抜き刷り20部が無料配布されるものとする。原稿には投稿者の氏名を記載せず、別紙に氏名、論文のタイトルおよび略歴を記載したものを一部のみ原稿に添付すること。
7. 原稿の採否は編集委員会の審査により決定する。
8. 宛名：京都女子大学英文学会 編集委員会
(住所 〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地 京都女子大学英文学科内) 封筒に『英文学論叢』原稿と朱書すること。
9. 締切：第49号の締切は2005年10月12日。
10. 採用された論文等の著作権は京都女子大学英文学会に帰属するものとする。

Notes for Contributors

1. Contributors must be members of the English Literary Society of Kyoto Women's University except in the case of contributors by special invitation.
2. Articles are restricted to unpublished work on the language, culture, or literature of English-speaking nations and/or its comparative aspect over against the Japanese language, culture, or literature. Book reviews may be commissioned by the editorial board.
3. The length should be not more than 7,000 words, or 20 pages (25 lines of 14 words). Three A4-size hard copies of the manuscript should be submitted along with a copy on floppy disk. The contributor's name should not appear on the manuscript. Instead, a cover sheet with the author's name, the title of the article, and a brief curriculum vitae printed on it should be enclosed with the copies of the manuscript.
4. As for the style of documentation, the contributors are urged to prepare manuscripts in accordance with the directives (parenthetical references and a list of works cited inclusive) of the latest edition of the *MLA Handbook for Writers of Research Papers*.
5. Contributors are allowed two occasions of proof-reading, the first and the second proofs. But they are urged to limit their corrections to typographical errors, without changing or adding to what they have originally submitted.
6. The Editorial Board, which includes a couple of guest referees, will make the final decision for publication.
7. Each contributor will receive 20 free offprints.
8. Submissions addressed to the Editorial Board of the English Literary Society of Kyoto Women's University should be sent to Department of

English, Kyoto Women's University, 35 Kitahiyoshicho, Imakumano, Higashiyamaku, Kyoto, 605-8501. The envelope should be marked in red that it contains a submission for *English Literature Review*.

9. The deadline of submission for No.49 is October 12, 2005.
10. It is a condition of publication in the Review that authors assign copyright to The English Literary Society of kyoto Women's University.

編 集 後 記

『英文学論叢』第50号を、森春秀先生のご退任記念号としてお届けいたします。

森先生は神戸大学、広島女学院大学の学部と大学院で教鞭を取られた後、本学大学院英文学専攻において博士後期課程の設立・発足に欠くことのできない先生として2000年4月に本学に着任されました。7年のご在職の間に英文学会会長の役職を担ってくださったばかりでなく、博士号授与の審査にも当たられ、大学院の発展に大きな貢献をしていただきました。英文教室の会議においても、知恵袋のような存在で私たちの士気を鼓舞されたものです。文体論や英文学の専門分野におけるご活躍は言うまでもなく、絵画創作をはじめとする多方面のご活躍振りには感服するばかりです。

森先生のご健康と今後のご活躍を心よりお祈りいたします。

最後になりましたが、この『英文学論叢』の学外審査員として今年度も亀井俊介先生、貴志哲雄先生にご尽力いただきましことを感謝申し上げます。

(M. H.)

[編集委員 辻 裕子、有馬道子、中村紘一、桧原美恵]

[題字 石田憲次先生]

英文学論叢 ISSN 0286-1674

発行所	京都市東山区今熊野北日吉町三五	編集兼 発行者	京都女子大学英文学会	英文学論叢	第五十号	平成十八年十二月二十五日	印刷
英文学会				非売品		平成十八年十二月二十五日	発行
印刷所	吉川 宣治						
印刷所	(株)吉川印刷工業所						

ENGLISH LITERATURE REVIEW

No.50

Contents

Articles

Soliloquies in Shakespearean

Films: the Case of *Hamlet*

..... Junko Oyamada (1)

Emily Dickinson's Experiments

in Her Early Poetry

..... Nobuko Shimomura (13)

English Stress Placement by Japanese Students:

Effects of Syllable Structure and

Noun-Verb Stress Differences

..... Keiichi Ishikawa (38)

THE ENGLISH LITERARY SOCIETY

KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

2 0 0 6